



せみせき 加美町小野田  
蝉堰 (加美町小野田)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

新堰

旧堰

1660年(万治3年)から約10年かけて今の加美町宮崎の新田開発のため作られました。  
水路の長さは約4 kmで、取水口から約1km は隧道(トンネル)になっています。近くに旧堰(昔の堰)もあります。一般の方の見学は困難です。

コンクリート固定堰  
堰長 : 37m 最大取水量 : 0.953m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



たすいせき 加美町小野田  
足水堰 (加美町小野田)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

1912年(明治45年)頃にかんがい用水が不足していた「八ヶ村堰」の用水を補給するために作られました。現在の施設は、1982年(昭和57年)に改修されました。「足水堰」は八ヶ村堰の用水に『水を足す(補給)』ことから名づけられました。一般の方の見学は困難です。

鉄筋コンクリート固定堰  
堰長 : 38.3m 高さ : 1.5m 最大取水量 : 0.720m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



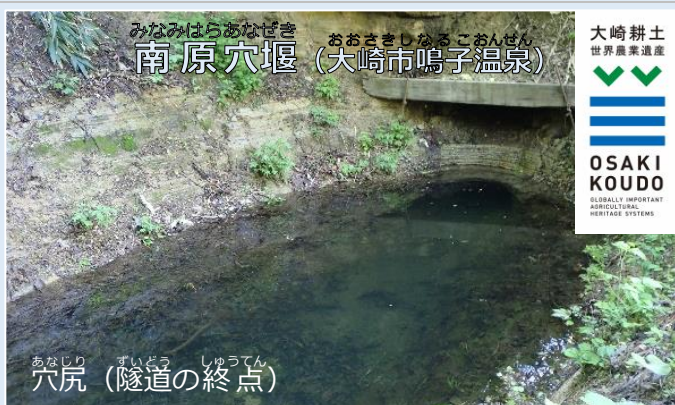
やちもりせき 加美町谷地森  
谷地森堰 (加美町谷地森)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

江戸時代に加美町谷地森地域周辺のかんがいのために作られました。当初の施設は洪水で流出したため、1951年(昭和26年)にそれまで堰のあった場所から約500m上流に新しく今の施設が作られました。一般の方の見学は困難です。

鉄筋コンクリート固定堰  
堰長 : 85.6m 最大取水量 : 0.819m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



みなみはらあなげき おおさきしなるこおんせん  
南原穴堰 (大崎市鳴子温泉)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

寛永年間(1624年~1643年)に大崎市鳴子温泉中山平に宿場町を作るため、当時の鳴子村の肝入(村長)だった遊佐平左衛門が南原の新田開発に取り組みました。

その遊佐氏を中心に南原のかんがい用水の送水のために、山中に手掘りの水路を作りました。六尻への道は私有地ですので見学には許可が必要です。  
水路延長 : 1,880m (うち隧道(ト礼) : 1,330m)

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



きどせんけつ おおさきしたじり  
木戸潜穴 (大崎市田尻)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

1635年(寛永12年)~1648年(正保5年)の大崎市田尻にあった貝の堀沼の干拓に続いて、1648年(慶安元年)~1650年(慶安3年)に仙台藩土佐賀房供による木戸沼干拓の排水用に掘削されたといわれています。

1968年(昭和43年)~1995年(平成7年)の県営かんがい排水事業田尻川地区で改修されました。一般の方の見学は困難です。  
延長 : 450m(250間)

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。





てるいぜき  
照井堰 (加美町上野目)

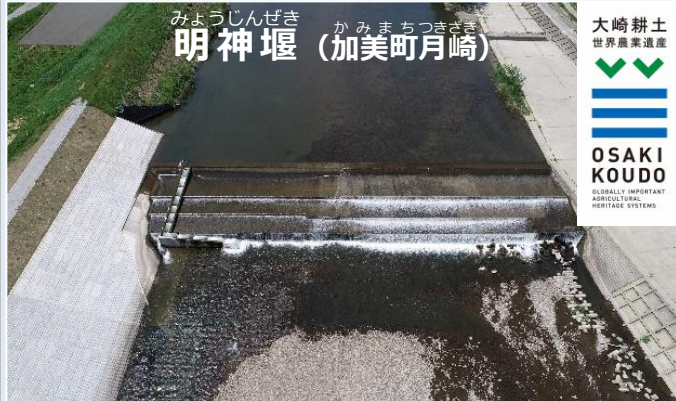
大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

江戸時代の1694年(元禄7年)から1756年(宝暦6年)に  
加美町小野田の領主であった古内氏が照井地域周辺  
のかんがいのために作りました。現在の施設は、1982年  
(昭和57年)の災害で壊れたため改修されました。  
下流の水沼橋から遠望できます。

てつきん  
鉄筋コンクリート固定堰

堰長：33.0m 最大取水量：0.027m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



みょうじんぜき  
明神堰 (加美町月崎)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

江戸時代に加美町月崎のかんがい用に作られました。  
昔は「明神堰」などと記していましたが、明治になって  
からは「明神堰」と記すようになっていきます。  
鳴瀬川左岸の親水公園から遠望できます。

コンクリート固定堰

堰長：70.0m 高さ：1.5m  
最大取水量：0.3227m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



こいずみぜき  
小泉堰 (加美町宮崎)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

江戸時代に加美町宮崎小泉地区とその周辺のかんがい  
のために作られました。  
現在の施設は1953年(昭和28年)に災害復旧で堰堤を  
コンクリート製に改修しました。  
一般の方の見学は困難です。

コンクリート固定堰

堰長：56m  
最大取水量：0.246m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



いりあいぜき  
入合堰 (加美町月崎)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

江戸時代に加美町月崎と色麻町清水のかんがいのため  
に作られたといわれています。  
何度か被災し改修されています。  
現在の施設は2019年(令和元年)の台風で被災しました  
が復旧事業により整備されました。  
下流の旭橋から遠望できます。

てつきん  
鉄筋コンクリート固定堰

堰長：55m 最大取水量：0.1019m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。



うちかわ  
内川 (大崎市岩出山)

大崎耕土  
世界農業遺産  
OSAKI  
KOUDO  
GLOBALLY IMPORTANT  
AGRICULTURAL  
HERITAGE SYSTEMS

1591年(天正19年)に初代仙台藩主伊達政宗が大崎市  
岩出山に移ってきた時に、岩出山城の外堀を掘り取水のた  
め江合川に樋管を設置したのが、内川と大堰の始まりで  
す。内川は城の防備のほか大崎市岩出山・古川などのか  
んがい用水にも利用されてきました。  
岩出山城跡周辺の区間は遊歩道が整備されています。

内川 延長：約20km  
大堰 最大取水量：11.786 m<sup>3</sup>/s

△ 水利施設の危険な箇所には近づかないでください。